

藤久保地域拠点施設 Q&A

? どんな施設ができるの?

藤久保地域拠点施設は、現在の藤久保小学校・図書館・保健センター・藤久保公民館などの公共施設がある場所に建設を予定しています。敷地内での施設の配置案については5ページをご覧ください。また、導入する施設については、現在藤久保にある公共施設だけでなく、民間施設なども検討中です。

導入する施設	導入検討中の施設
<ul style="list-style-type: none"> 藤久保小学校 藤久保児童館 藤久保第1・2学童 子育て支援センター ファミリーサポートセンター 図書館 藤久保公民館 保健センター 藤久保出張所 	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいセンター（一部機能） （仮）市民活動センター 商工会館 社会福祉協議会 民間施設

? 複合施設ってどんな施設?

複合施設とは、様々な役割を持った施設が一つの建物に集まった施設のこと。公共施設だけでなく、オフィスやカフェなどが入居する複合施設もあり、様々な用途があることが特徴です。



長野県塩尻市の複合施設「えんばーく」。フリースペースは市民の憩いの場です。



イラストはイメージです

実際の藤久保地域拠点施設の完成図とは異なります。建物のデザインについてもアイデアをお待ちしています。9ページの意見募集の案内をご確認ください。

現

在、約3万8千人が暮らしている三芳町。これから先の未来、少子高齢化が進み、人口が減少する予想が出されています。そのような状況の中、藤久保地域にある公共施設の多くが築35年以上経過し、老朽化が進んでいます。高度経済成長により人口が増加した昭和40～50年代に建設されて以降、現在までたくさんの方の利用者を迎え入れてきた施設は、まもなく建て替え時期を迎えます。

公共施設の老朽化と、人口減少・少子高齢化。これらの町の未来を見据え、藤久保小学校と周辺の公共施設を複合化し、未来の町のランドマークとなる施設を建設する「藤久保地域拠点施設整備事業」が始まっています。

複合化でサービスの向上

新たな公共施設は、町の将来を見据えた上で、機能・サービス・コストなどを考えてつくる必要があります。今回の計画では、現在別々に配置されている施設を複合化することを計画しています。複合化をすることで、各施設の機能が連携し、相乗効果が生まれ、サービスの向上につながります。さらに、トイレやエントランスなどを共有することで、施設を省スペース化し、整備や維持管理

理のコスト削減を実現します。

みんなで町の未来を創造

学校や図書館などが集まり、町のランドマークとなる新しい施設。幼児から高齢者・障がい者・外国人など、すべての人の居場所となる「輝く未来創造拠点」をめざし、計画を進めています。施設に集まった人が学び・育ち合うことで、町に新たなイノベーションを起こす。未来の三芳町の象徴となる施設をどんな場所にしたいか想像して、みんなで未来を創造しませんか。

基本理念

～集い・学び・育つ～

輝く未来創造拠点

基本理念である『未来創造拠点』の実現に向け、導入される各機能がつながり、新たなイノベーションや集い、学び、育ちの拠点となる施設をめざします。



藤久保地域拠点施設整備事業

みんなの アイデアで未来の ランドマーク

現在の藤久保小学校と周辺の公共施設をまとめて整備する「藤久保地域拠点施設整備事業」が始まっています。これからの三芳町の姿を想像して、未来を創造しませんか。